



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:自他を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ

～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

島尻地区英語スピーチコンテスト

9月10日(水)、南風原町中央公民館 黄金ホールにおいて、島尻地区英語スピーチコンテストが開催されました。

本コンクールは国際性豊かな青少年を育てるために、英語による表現力・発表力・コミュニケーション力を育成し英語に対する興味関心を高めることを目的に開催されており、地区内19校の代表が自作の英語意見文をオールイングリッシュで発表しました。

本校からは、3年生の水野 絢音さんが出場し、「Let's live according to our own will」(自分の意思に従って生きよう)というタイトルで、夏休みに自身が体験したハワイでの交流会を通して、『自分が何も考えずに日常を過ごしていた事に気づき、これからは日々の日常や特別な経験ができたことに感謝し、「自分の意思」を持つことで、人生がより豊かになっていく』等の内容のスピーチでした。

結果は優良賞で県大会への出場は叶いませんでしたが、ゼスチャーを交え、落ち着いた堂々としたスピーチでした。絢音さん、大変素晴らしかったです。

また、指導に携わった、照屋仁史先生、メラク先生ご苦労様でした。応援に駆けつけた3年生の松永 花里和さん、渡慶次 花菜さん 応援ありがとうございました。



第47回九州中学校陸上競技大会に参加して

3年 川満 悠太郎さん ※原文通り

①九州大会に参加しての感想

とても高いレベルで戦うことができ、とても「刺激」をもらうことができました。上には上がいるということに対戦して感じ、自分のレベルを上げていく必要があるなと思いました。

また、県外の選手の礼儀正しい姿が走ることに上にかっこよくて、オーラを感じ、自分もそういう選手になっていきたいなと心から思いました。この経験は自分の人生のプラスになりました。

②今回の出場を経験し、今後に生かしたいこと

今後に生かしたいことは、九州・全国レベルに一歩でも近づけるように、地道に練習を頑張って、九州大会ででた課題を克服していけるようにします。そして、学校生活の中でしっかりと礼儀・マナーを身につけて、陸上でも普段の生活でもレベルアップできるようにします。

「みんなで SDGs 沖縄ゴミ拾い」

ゴミ拾いは SDGs(持続可能な開発目標)の達成に貢献する活動であります。

沖縄県では、県をあげて「沖縄まるごとゴミ拾い」という広域活動を実施しており、県内各地でゴミ拾いイベントが開催されています。この活動は、沖縄(地域)の自然環境を守り、持続可能な社会を目指す SDGsの理念に基づくものであり、本校でも活動の一環として、豊崎ミSSIONの生徒の皆さんが9月17日(水)にゴミ拾いイベントを実施しました。

